

かほく市地域包括支援センター運営協議会 令和7年度第2回会議報告

招集年月日	令和8年3月16日(月)
招集場所	かほく市役所302会議室
開会日時	令和8年3月16日(月)午後7時00分
閉会日時	同 午後8時04分
委員の定数	10人
出席委員	米澤 洋美、谷中 美雪、中本 利光、藤田 拓也、高附 賢史、森 茂信、谷内 政広、油谷 喜美枝、三浦 陽一、坂本 理恵
欠席委員	なし
事務局	多田健康福祉部長、藤井長寿介護課長、谷内担当課参事、平野課長補佐、林主幹、橋岡主幹兼介護予防係長、菊田主幹兼高齢者支援係長
議 事 の 経 過	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>－会議の成立について事務局より説明－</li> <li>－健康福祉部長挨拶－</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>－議件1)令和7年度高齢者支援センター下半期実績について事務局より順次説明－</li> </ul>
委員	「高齢者医療・介護とくらしの便利帳」は、今年度全戸配布されるか。町会長・区長にも配布してもらえると助かる。
事務局	全戸配布はしていないが、例年関係機関に配布、希望者に随時配布、ホームページにアップしている。冊子配布については、一人暮らしの方を優先的に考えているが、また検討したい。
委員	「男性のための介護予防講座 プラチナおやじ道場」は、知り合いの方が参加し喜んでいて。さらに人数を増やす予定などはあるか。
事務局	定員は20名とし、今回は定員内の人数であった。調理実習の際は場所も限られているため、また検討したい。
委員	高齢者虐待対応の実態把握に行く職員へのハラスメント対策はしているか。
事務局	市の中で介入するタイミングも協議しながら、福祉職と医療職で複数対応している。
委員	団塊の世代が要介護状態になりつつある一方、子育て世代の孤立対策など、高齢者だけでなく幅広い世代の福祉対応が求められる世の中になってい

	<p>る。市と社会福祉協議会がタイアップし、町会区長会、老人クラブ連合会も密接な関係を持ちながら、地域や住民自身も福祉の一端を担う「地域福祉」という概念が大切である。</p>
事務局	<p>－事務局より議件2) 新規事業「通所型・訪問型短期集中サービス C」の説明－</p>
会長	<p>周知はどうするか。対象者はだれか。</p>
事務局	<p>市役所の窓口で、介護申請などの相談に来た際に直接紹介する。 「要支援」、「チェックリストに該当する方」を対象としている。</p>
会長	<p>－事務局より議件3) かほく市地域包括支援センター運営方針（案）について説明－</p>
委員	<p>被災により能登から避難し孤立している高齢者への支援は何かあるか。</p>
委員	<p>石川県から委託事業として「地域支えあいセンター」を社会福祉協議会で運営している。石川県と支援者リストを共有しながら、月1回のサロンを開催、定期的に個別訪問をしている。</p>
事務局	<p>「地域支えあいセンター」で気になる高齢者がいれば、市の「高齢者支援センター」につなぐという支援体制も整えている。</p>
委員	<p>みなし住宅だと情報があるが、親戚宅へ避難していると、社会福祉協議会や市の方でも把握できない情報があるようだ。</p>
会長	<p>－事務局より議件4) 新規居宅介護支援事業所（2か所）の委託について説明－ －拍手で承認－</p>
	<p>閉会</p>